

## 平成30年度決算の概要

## 1 一般会計

歳入総額	8,340億5,668万7千円(前年度比△122億7,650万2千円、1.5%減)
歳出総額	8,216億856万3千円(前年度比△150億1,671万6千円、1.8%減)
実質収支額	歳入歳出差引額は124億4,812万4千円となり、翌年度へ繰り越すべき財源を差し引いた実質収支額は65億73万2千円で、前年度比14億6,496万1千円、29.1%増となりました。

## 【決算額等の対前年度比較】

(単位:千円、%)

区 分	平成30年度決算額 ①	平成29年度決算額 ②	比較増減 (①-②)	前年度比
歳入総額	834,056,687	846,333,190	△12,276,502	98.5
歳出総額	821,608,563	836,625,279	△15,016,716	98.2
歳入歳出差引額	12,448,124	9,707,911	2,740,213	128.2
翌年度へ繰り越すべき財源	5,947,392	4,672,140	1,275,251	127.3
実質収支額	6,500,732	5,035,770	1,464,961	129.1

## 2 特別会計(12会計)

歳入総額	4,644億7,368万4千円(前年度比1,955億5,113万4千円、72.7%増) (うち、国民健康保険特別会計設置分 1,868億3,388万3千円、69.5%増)
歳出総額	4,567億9,309万7千円(前年度比1,898億5,442万2千円、71.1%増) (うち、国民健康保険特別会計設置分 1,819億2,928万6千円、68.2%増)
実質収支額	歳入歳出差引額は76億8,058万6千円となり、翌年度へ繰り越すべき財源を差し引いた実質収支の合計額は74億5,638万6千円で、前年度比55億8,089万8千円、297.6%増となりました。

## 【決算額等の対前年度比較】

(単位:千円、%)

区 分	平成30年度決算額 ①	平成29年度決算額 ②	比較増減 (①-②)	前年度比
歳入総額	464,473,684	268,922,549	195,551,134	172.7
歳出総額	456,793,097	266,938,675	189,854,422	171.1
歳入歳出差引額	7,680,586	1,983,874	5,696,711	387.2
翌年度へ繰り越すべき財源	224,199	108,386	115,812	206.9
実質収支額	7,456,386	1,875,488	5,580,898	397.6

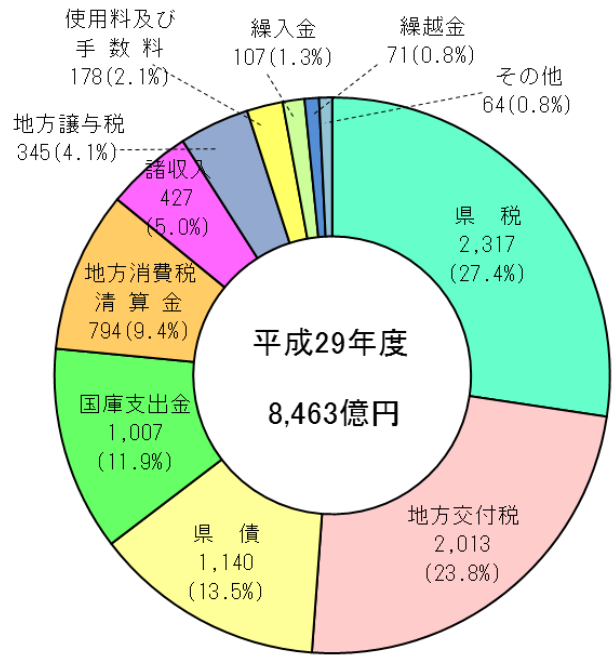
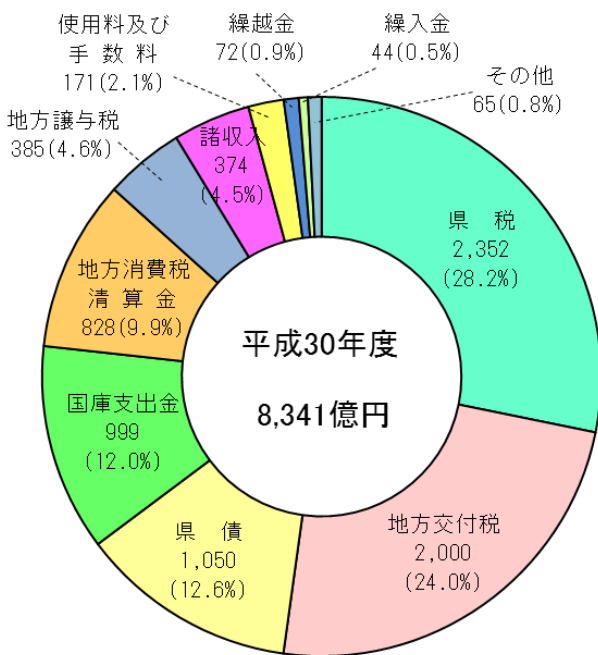
# 【一般会計の歳入状況】

## ○対前年度増減が大きい款

(単位：億円)

款	H30	H29	増減額	主な要因
地方譲与税	385	345	+40	地方法人特別譲与税の増 (+39.9)
県 税	2,352	2,317	+35	法人県民税・事業税の増 (+41.4)
諸 収 入	374	427	△54	中小企業金融対策資金貸付金返還金の減 (△47.3)
繰 入 金	44	107	△63	財政調整基金繰入金の減 (△21) 地域医療介護総合確保基金繰入金の減 (△15) 小規模企業者等設備導入資金特別会計繰入金の減 (△4.8)
県 債	1,050	1,140	△91	教育債 (新県立4年制大学建設事業債等) の減 (△60.7) 土木債 (道路・直轄事業債等) の減 (△26.9)

## ○款別構成比の対前年度比較



## ○過去10年の推移



(注) グラフ中の数値は表示単位未満を四捨五入しているため、合計は一致しない場合があります。

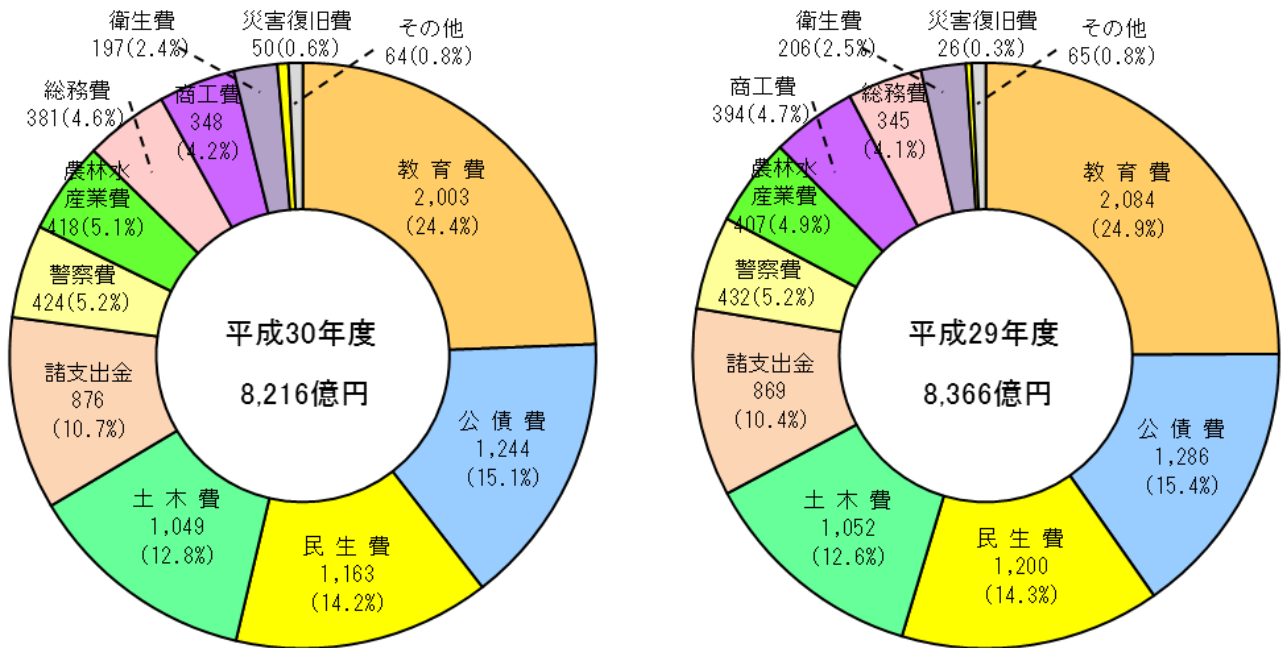
## 【一般会計の歳出状況】

### ○対前年度増減が大きい款

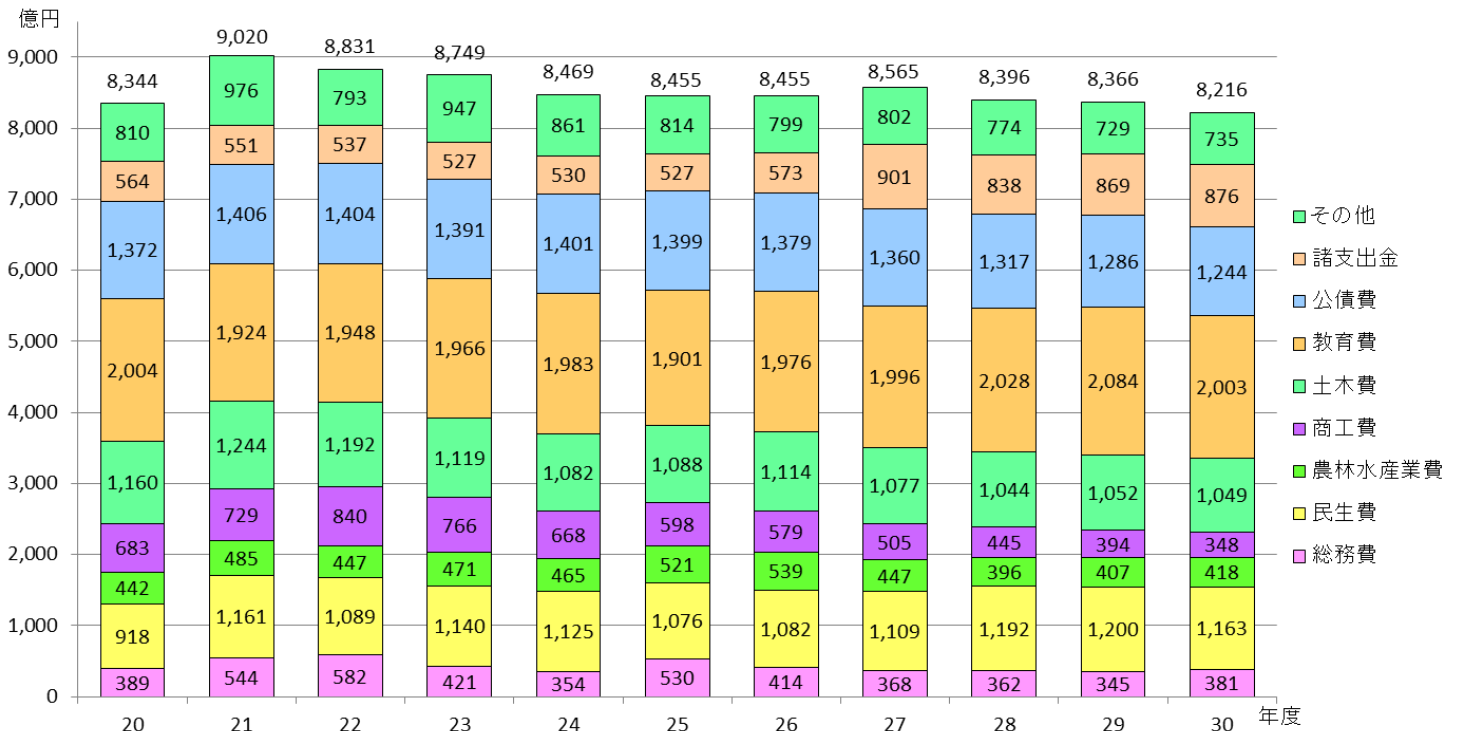
(単位：億円)

款	H30	H29	増減額	主な要因
総務費	381	345	+36	文化施設大規模改修事業費の増(+25) 信濃美術館整備事業費の増(+9.9)
民生費	1,163	1,200	△37	地域医療介護総合確保基金事業費、老人福祉施設等整備事業費の減(△25.5)
公債費	1,244	1,286	△42	公債費特別会計への繰出金の減
商工費	348	394	△46	中小企業融資制度資金の貸付等の減(△47.3)
教育費	2,003	2,084	△81	新県立4年制大学建設事業費等の減(△78.5)

### ○款別構成比の対前年度比較



### ○過去10年の推移



(注) グラフ中の数値は表示単位未満を四捨五入しているため、合計は一致しない場合があります。